

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	規則 第3条6項	町道折田小川線舗装工事〈1〉	中之条町	6,037,500	5,900,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	規則第3条6項	町道折田小川線舗装工事〈1〉	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		中之条町	
交付金事業実施場所	中之条町大字中之条町地内		
交付金事業の概要	<p>本路線は、草津温泉からの観光客を四万沢渡温泉に繋ぐ重要な道路であると共に、路線沿いには吾妻東部衛生センターや県土木事務所、町営住宅などがあり、交通量が多く道路の損傷が激しい。このため、安心安全なまちづくりの一環として舗装の維持補修工事を実施することで、地域住民の生活環境を改善し、観光客が安心して訪れることのできる道路環境を整備する。</p> <p>・舗装工 L=342.0m A=2,120.2㎡ ・区画線工 A=688.0m ・側溝工 A=12.0m</p>		
総事業費	6,037,500	交付金充当額	5,900,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	5,900,000
交付金事業の成果及び評価	<p>舗装面の改良をすることにより、車輛等の安全な通行が可能となり、地域住民の生活環境が改善され、また、観光客が安心して訪れることのできる安心安全なまちづくりが図られた。</p>		

交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事請負契約	指名競争入札	株式会社千島工務店	6,037,500
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
<p>主要な町道について、舗装面の調査を行い、特に裂傷、ゆがみの激しいものについて優先的に整備を行うとともに、上下水道事業における配管工事と連携し、効率的・計画的に事業を進めていきたい。</p>				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特になし

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	和光原簡易水道 配水管布設替工事	中之条町	14,080,500	13,800,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	和光原簡易水道 配水管布設替工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		中之条町		
交付金事業実施場所	中之条町大字入山地内			
交付金事業の概要	配水管布設替工 配水用ポリエチレン管 L=279.1m 舗装本復旧A=1643.8㎡			
総事業費	14,080,500	交付金充当額	13,800,000円	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	13,800,000円	
交付金事業の成果及び評価	本水道施設の配水管は敷設後30年以上経過し老朽化が激しく、幾度も漏水していた。本事業を実施した結果、安定した水量の確保されるとともに、給水も安定しました。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	配水管布設替・舗装工事	指名競争入札	株式会社 武藤組	14,080,500円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
特に予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。